

2026 1

画廊が推す注目株が勢ぞろい!

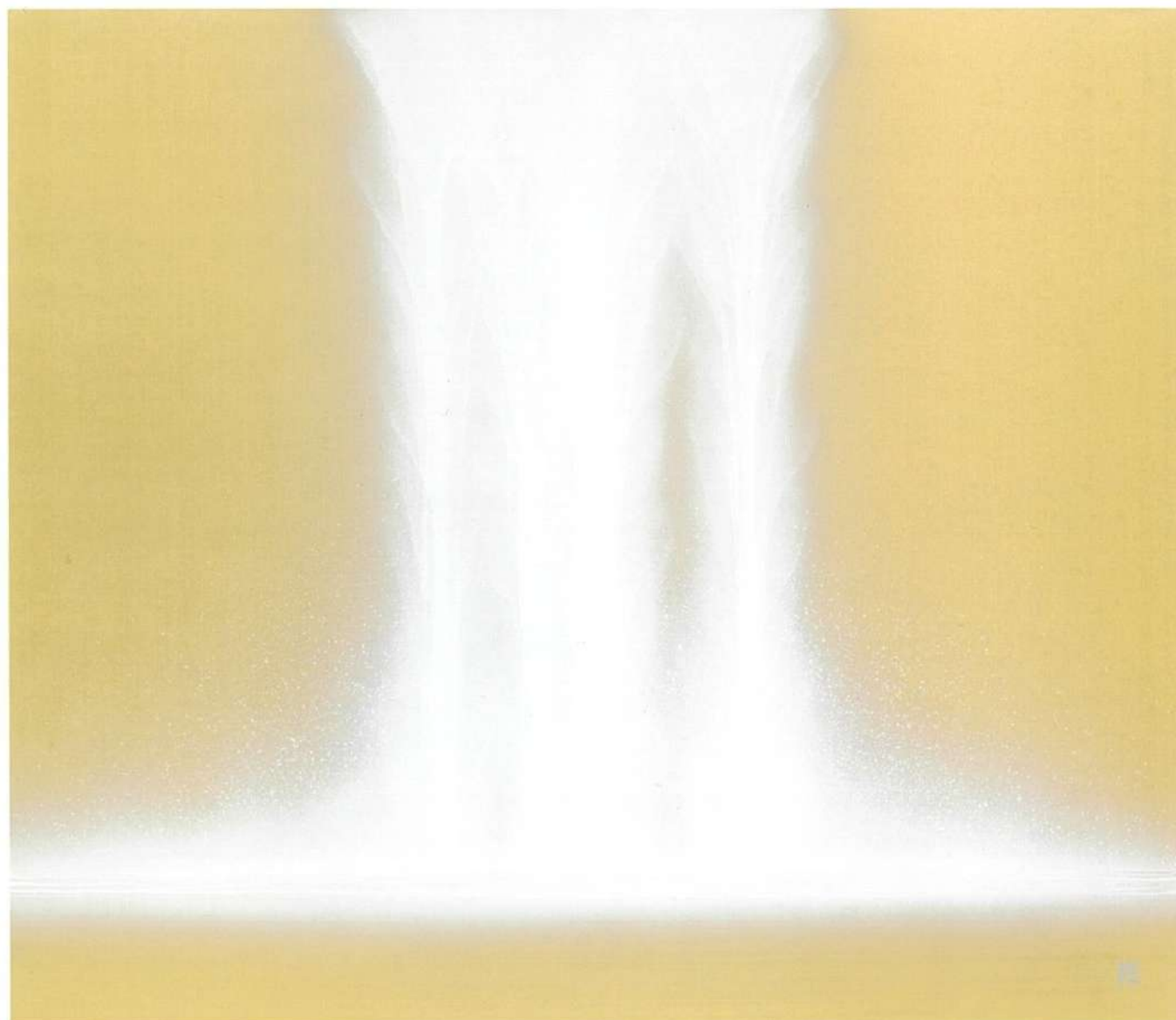
イチオシ作家 2026

コレクター必見の30作家

月刊
美術

No.604

Since 1975



ウォーターフォール 千住博

Naoya EGAWA

江川直也

静寂を纏う神々しい光

ギャラリーためなが

東京都港区南青山6-5-39

☎03(3573)5368

<https://www.tamenaga.com>

▶2月14日～3月15日・同画廊にて
個展



1988年埼玉県生まれ。2011年京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース卒業。卒業制作展細川護熙賞、学科賞、エマージング賞受賞。13年第13回佐藤太清賞公募美術展日本画の部特選福知山市長賞。(14年特選 横浜賞)。19年Seed山種美術館日本画アワード

奨励賞。「Nouvelle Ere du Japon IV」(ギャラリーためなが／パリ)。20年「巴里を魅了する和の九人展」(ギャラリーためなが／東京)。23年個展(ギャラリーためなが／パリ)

江川直也は大学卒業後、水墨画や襖絵、屏風といった日本の伝統絵画に深く傾注。より豊かな自然と向き合うため、理想郷を求めて長野へ移り住み、その土地の四季と向き合いながら制作を続ける。

江川の作品は、精緻な技法により



江川直也は2023年に弊社パリ店にてフランス初の個展の好評を受けて、2月には東京店で初個展を飾ります。(ギャラリーためなが・爲永清嗣)

独自の輝きを湛える。木立の枝の周りに箔を貼り、その一部を丁寧に削り落とす工程を重ね、さらに岩絵具を施すことで、枝葉は空にきらめき、透き通った光を宿す。静けさの中に確かな生命が脈打つ風景は、鑑賞者を現実から切り離し、神々しさに満ちた空間へと誘う。

緻密な表現と研ぎ澄まされた感性が評価され、2019年には山種美術館日本画アワードで奨励賞を受賞。現代に新たな自然観を提示する江川直也の作品は、今後ますます注目すべき日本画の一潮流といえるだろう。



《冬三日月》 130×162cm 高知麻紙に岩絵具、アクリル絵具、煤



《夜桜》 162×194cm 高知麻紙に岩絵具、アクリル絵具



《黎明に翔る》 89×130cm 高知麻紙に岩絵具、アクリル絵具